

小樽ロータリー

クラブ会報

33 No.3999
創立1933.12.12

例会場：グランドパーク小樽
例会日：毎週火曜日12時30分
事務所：小樽市築港11番3号
http://www.otaru-rotary.net/
発行日：2016年3月15日

2015-16年度 国際ロータリーテーマ



世界へのプレゼントになろう

2015~2016年度 RI会長 K.R.ラビンドラン (K.R.Ravindran)



今日のプログラム

「ナレッジワークとデザイン ~小樽でやっていきたいこと~」
N合同会社代表 福島 慶介氏

第31例会記録 2016年3月8日

■ロータリーソング 「日も風も星も」

■ゲスト紹介

- ・独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
鉄道建設本部 北海道新幹線建設局
工事第六課長 須澤 浩之様
- ・独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構
鉄道建設本部 北海道新幹線建設局
工事第六課 金澤 直矢様

■会長報告 (平松会長)

- ・渡邊会員に米山記念奨学会から感謝状が届いております。
- ・東日本大震災から5年が経過しました。

復興支援で一緒した盛岡西ロータリークラブ、東京山の手ロータリークラブより周年行事のご案内が届いております。

◇東京山の手ロータリークラブ創立30周年記念式典

日時：5月21日(土) 17時~
会場：ザ・キャピタルホテル東急 1階

◇盛岡西ロータリークラブ創立50周年記念式典

日時：5月7日(土) 13時~
会場：ホテル東日本3階 (盛岡市)

参加可能な方がおられましたら幹事までご一報ください。

- ・先週3月1日の例会は、クラブフォーラムを行いました。「クラブの夢、未来」と題しまして4グループに分かれ、活発なご意見を戴きました。

日頃より会員の皆様のロータリークラブに対する率直なご感想や将来に対してのご提言も戴きました。

クラブの現状分析や会員の増強・維持そしてクラブの将来像に関しまして、会員の皆様が実に幅広いご意見をお持ちであると実感しました。

3月27日に行われます「I M」におきまして、第6グループの皆様と改めてご討議することになると存じます。

また、私の会長期間も残り4ヶ月を切りましたが、今後とも「出席したくなる例会運営」と「地域に密着した意義ある奉仕活動」を目指しますので、ご協力をお願い申し上げます。

- ・3月22日には4000例会を迎えます。

前回22年前の3000回例会を経験された会員が15名いらっしゃいます。

懐かしいスライド写真と共に一言ずつでも語って頂きたいと存じます。

その歴史を大切に、皆様でお祝いしたいと存じます。

■幹事報告 (橋本幹事)

- ・台湾南部地震への被災者への義捐金を募ります。各テーブルのテーブルマスターは取りまとめをお願いします。
- ・3月29日(火)は、休会です。

3月22日は、通算4000例会です。点鐘は17時です。

3月27日は、I Mで点鐘は15時です。

- ・例会変更のお知らせです。

◇小樽南ロータリークラブ

3月11日(金) 休会

◇小樽銭函ロータリークラブ

3月24日(木) → 3月27日(日)へ振替

3月27日(日) インターシティーミーティング
会場：グランドパーク5階

◇余市ロータリークラブ

3月16日(水) 移動例会
会場：フゴッペ洞窟
点鐘：12時30分

◇岩内ロータリークラブ

3月10日(木) 移動例会
会場：三菱日立パワーシステムズ(株)高砂工場岩内地区

3月24日(木) → 3月27日(日)へ振替

3月27日(日) インターシティーミーティング
会場：グランドパーク5階

3月31日(木) 夜間例会

会場：明月苑



■委員会報告

●会員親睦委員会 (稲垣委員長)

4000回の記念例会に行きますオークションのお願いを皆様しております。

まだまだ足りていませんのでご協力お願いします。

●広報情報・研修委員会

(杉江委員長)

入会3年未満の会員の方向けに、3月29日(火)18時から研修と懇親会を開催いたします。

詳細は、追ってご案内します。3年以上の会員の方も参加歓迎します。



■真心箱報告

- ・船山会員…先週の土曜日の3月5日に弊社の株主総会で社長に就任しました今後ともよろしくお祈りします。

- ・稲垣会員…3月5日に初孫が生まれました。男の子で2,960g。とてもかわいいです。

前回のプログラム

「北海道新幹線工事の進捗状況について」

鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局工事第6課 課長 須澤 浩之氏

■ゲストスピーカー紹介 (例会運営中野委員長)

いよいよ3月26日、待望の北海道新幹線が函館まで繋がります。これをうけて本日は、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構、我々略してJR TTさんと言う呼び方をさせて頂いていますけれど、札幌から須澤課長様・金澤様をお招きして、北海道新幹線工事の進捗状況について、と題しましてご講演を戴きます。

ご講演を戴く須澤課長様のプロフィールです。平成10年に東京大学工学部ご卒業でございます。卒業後JR TTに入社されております。平成24年12月には、金沢鉄道建設所の所長、平成27年4月に北海道新幹線建設局工事第6課課長として活躍されております。



■須澤浩之氏講演

◇北海道新幹線の概要

北海道新幹線は、東北新幹線の新青森駅を起点として、青函トンネルを通過し、札幌市に至る延長360kmの新幹線鉄道で、関東・東北圏などと直結する北海道の大動脈として地域発展に大きく寄与する路線です。

このうち平成28年3月26日開業の新青森・新函館北斗間は、新青森駅を起点として、奥津軽いまべつ駅、木古内駅を経て、新函館北斗駅に至る約149kmの路線です。



◇北海道新幹線の経緯

昭和63年3月	津軽海峡線	開業
平成17年4月	新青森・新函館(仮称)間	工事着手
平成24年6月	新函館(仮称)・札幌間	工事着手
平成28年3月	新青森・新函館北斗間	開業

◇新幹線の環境対策

騒音対策、微気圧波対策、振動対策を実施しています。

◇青函トンネル

青函トンネルは、外ヶ浜町浜名から知内町湯の里に至る53km850mの長大海底トンネルです。海底部トンネルは、先進導坑、作業坑、本坑の3本のトンネルで構成し、先進ボーリング、止水注入、吹付コンクリートなどの技術開発によって、軟弱・不良地質帯・異常出水を克服しながら採掘を進めました。新幹線規格で建設しており、新幹線開業後は新幹線と貨物列車が共用走行するトンネルとなります。

◇北海道新幹線の雪害対策

積雪寒冷地では降雪や列車からの落氷雪の詰まり、可動部の凍結など、ポイントが転換しなくなる事を防止する対策を行っています。北海道新幹線は、既設新幹線より気象状況が厳しいため、実物大の試験設備による試験を行うなど、万全の対策を実施しました。

◇函館新幹線総合車両所

函館新幹線総合車両所は、新青森起点146km820m付近の北海道七飯町に位置し、仕業検査・交番検査の検修設備および台車検査・全般検査の工場機能を有する総合車両基地です。

◇建築

ユニバーサルデザイン、寒冷地における環境デザイン、地元参加の取り組み、地元産木材の活用、同一平面乗り換えをテーマにしています。

◇北海道新幹線の軌道

共用区間では在来線・新幹線の列車が走行できるように、狭軌と標準軌の三線式構造となります。

この三線式軌道は、秋田新幹線の一部で営業車両が走行していますが、整備新幹線としては、北海道新幹線の共用区間が初めてとなります。津軽海峡線開業以来使用してきた在来線のレールのうち、新幹線と共用となるレールは交換し、新幹線専用のレールは新たに敷設しています。また、中間の駅や在来線・新幹線の分岐点には三線式の分岐器も挿入しています。

共用区間における新幹線車両の最高速度は、当面は140km/hとされていますが、260km/hまで速度向上させる計画です。

◇北海道新幹線新小樽(仮称)駅開業に向けて (北海道新幹線建設促進小樽期成会)

道民の悲願であった北海道新幹線新青森～新函館北斗間は、2016年3月26日に開業が決定し、新幹線が北海道を走るという現実が目前に迫っています。

小樽市内の民間企業・団体が組織した「北海道新幹線建設促進小樽期成会」では、他の期成会との強い連携のもとに札幌延伸の早期実現に向けた運動を展開しております。

当期成会では、2014年6月「北海道新幹線の有効活用について、新小樽(仮称)駅周辺整備に向けての提言書」を取りまとめ、新駅と小樽駅・小樽港との動線強化や周辺開発として、大規模駐車場や市内外とのアクセス整備、既存地域資源などとの連携等を盛り込み、新小樽(仮称)駅周辺の「まちづくり」についてオール小樽で取り組むよう小樽市に提言しました。

北海道新幹線新函館北斗～札幌間は、2012年6月着工、札幌開業は2030年度末を目指し工事が進められております。

当期成会は、目前に迫った北海道新幹線の開業が15年後には小樽まで来ることを市民に啓発するため、

- ①JR南小樽駅横断幕新デザインの更新と、JR小樽築港駅に看板を設置
- ②デジタルサイネージによるカウントダウンと動画の放映を行い、今後とも札幌延伸の早期実現に向けた運動や新小樽(仮称)駅周辺の「まちづくり」の取り組みを推進して参ります。

出欠調べ

(3月8日分)

1. 本日の欠席者(12名)
荒木 博昭、市川 英明、伊藤 保夫、菰田 尚正、
寫村 公宏、武井 豊、土屋 大乘、野口 禮二、
花和 嘉貴、久末 智章、堀岡 秀之、松永 吉弘
2. 本日の出席者(会員76名中61名)
(出席規定除外者9名中6名出席)
3. 前々回(2月26日)の確定出席率(会員数76人)
(義務出席会員69名 出席50名 72.46%)
4. 前々回のメーキャップ
海老名 健(札北)、小川 修生(地区会議)、
佐藤 慶一、柴田 憲彦、西村 仁(以上樽南)

■次回のプログラム 「通算4000回記念例会」

■本日の記事担当 (佐藤正嗣)